

## 大和北道路有識者委員会 発言要旨

(社)日本自動車連盟 ( J A F ) 奈良支部

## 1. J A F の概要

## 2. 奈良県北部地域における道路交通状況について

幹線道路の慢性的な交通混雑により、自動車は迂回するため生活道路へ流入、交通事故が多発、市民の住環境を脅かしている。また、道幅が狭く脱輪事故（落輪、落込み）も多発している。

渋滞のため移動に時間を費やし計画していた観光施設を巡ることができない旅行者がある。また、市民は買物や行楽等で影響を受けている。

渋滞に巻き込まれた自動車が故障した場合、路上の障害物となり渋滞に拍車をかけている。また、故障車の支援にあたっては短時間で駆けつけることが難しくなっている。

## 3. 道路整備に関するアンケート調査結果について（・ J A F 本部 2002 年実施

- ・ 調査対象 全国の自家用乗用車ユーザー・有効回答者数 12,609 人 )

一般道路の現状に対し 61% が不満を訴えている。不満要因は、「車道も歩道も狭いところが多い」67%、「交通渋滞や混雑が一向に解消されない」57% が上位を占めている。

高速道路は今後もさらに整備が必要との意見が圧倒的に多く 80%、もう十分との意見は 17%。

高速道路の整備計画は全体的な見直しが必要との意見が多い（72%）、見直しのプライオリティーは、「交通の混雑緩和対策」54% が最も多く、その他、環境面、経済活動、全国ネットワークの形成、地方の利便性確保等に配慮を求める意見が分散。

不満の理由は奈良県でも特に顕著と考えられ、多くのドライバーは道路整備によって交通混雑が緩和されることを期待していると思われる。

## 4. 京奈和自動車道の整備について

- ・ 近畿大都市圏の外郭環状道路機能を有することから、近畿主要都市はじめ様々な地域との交流を促進し、奈良県の地域経済、観光産業の活性化に大きく寄与すると考えられ早期整備を望む。

## 5. 大和北道路の整備について

ルートについては奈良県北部地域の交通混雑緩和のため、幹線道路と機能的に結ばれることが重要。

大和北道路に付帯する駐車施設を設け、市中心部への車両流入を減少させることが国際観光都市・奈良の地域特性から有効と考える。